

★賛助会員（団体）様をご紹介するコーナーです。

賛助会員（団体） 神戸健康共和会 ケアセンターふれあい ご紹介 賛助会員（団体）紹介シリーズ10

特定医療法人 神戸健康共和会
ケアセンターふれあい
所長 中村 晶子

ケアセンターふれあいは、平成16年5月当法人と東神戸医療互助組合の共同事業として、東灘区住吉に開設しました。平成27年6月にはケアセンターみやまち（小規模型デイサービス・認知症対応型デイサービス）と統合し、定員を25名から40名に増やし、リニューアルしました。

施設は1階から3階までの3ユニットとなっています。フロアのあちこちに飾ってある絵は、絵の先生をされていた利用者さんが描かれもので、フロアの癒しとなっています。

特徴は多様なニーズに応えられるよう、選べるレク活動を3グループ「歌・体操」「手作業・物作り」「リラクゼーション・機能訓練」に分かれ行っています。

また、ベッドが4台あり、看護師も複名配置しており、同一法人の東神戸病院も近くにあるため、医療度の高い方や退院直後の方も安心してご利用いただけます。

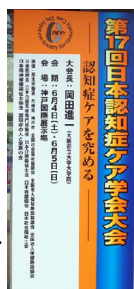
デイサービスは小さな地域のようなもの。「みんなちがってみんないい」をモットーに認知症になっても、介護が必要な状況になっても、「住み慣れた地域で生き生きと暮せるように」援助拠点としての役割を發揮していきたいと思っています。また、専門職を講師に招き、利用者さん向けの学習会（福祉用具・栄養、嚥下・転倒予防体操など）も行っています。

いつでもお気軽に見学にお越し下さい！



第17回 日本認知症ケア学会大会に参加して

今年度の日本認知症ケア学会大会は、ポートアイランドにある神戸国際展示場を会場に6月4日（土）・5日（日）の2日間、開催されました。大会場4カ所、中規模会場4カ所のいずれの会場も多くの参加者であふれ、熱気いっぱい今回のテーマである『認知症ケアを究める』ための講演・演題発表が行われました。認知症の人自らがふさわしいと考える場所や住み慣れた地域で、自分らしい人生を最後まで続けられるよう「地域包括支援システムの構築を実現する」ために、どのように進めているのか、また問題点は何なのか、など、専門医やそれぞれの職種の立場から様々な報告を聞き、学ぶことの多い2日間でした。



G7神戸保健大臣会合 開催50日前フォーラム

●●●「認知症と共生する社会に向けて」に
伊藤理事長パネリストとして参加 ●●●

本年9月11、12日の2日間、神戸市で、伊勢志摩サミット（主要国首脳会議）の関係官僚会合で保健分野における、国際的な課題が議論される、G7神戸保健大臣会合が開催されます。あと50日となった7月23日、神戸市医師会館に於いて「認知症と共生する社会に向けて」と題して市民280人が参加し、認知症フォーラムが開かれました。

2つの基調講演後、「認知症の人の支援～産学官地の連携～」をテーマにパネルディスカッションが行われました。4人のパネリスト（製薬会社役員、認知症サポート医、認知症地域支援推進員等）の1人として当法人の伊藤理事長が「地域のネットワークで取り組む認知症予防と支え合いの街づくり」と題して、御影地域での認知症予防サポーターの養成、老人会「中御影笑和会」の誕生、認知症予防カフェ「木曜会」の活動、早期発見・早期支援活動などを報告しました。熱心にメモを取る方々や、活動費についての質問など、地域での活動への関心の高さが見られました。